

沿岸さば漁況予報（確定報）

— 2020年の相模湾～東京湾のマサバ漁況について —

■ 2020年漁期の見込み

（1）来遊量と漁獲量

前年を上回り、平年並

（2）魚体

尾叉長 31～33cm（体重 340～440g）を主体に漁獲される。



■ 予測の根拠

（1）来遊量と漁獲量

本予報では、①当年6月の伊豆大島周辺の塩分（平年並でした）、②本年5月の三崎定置網主要3ヶ統のマサバ漁獲量（平年を下回りました）、③当年8月の東京湾の水温（平年を下回りました）のデータを用いて、さば釣り漁船1日1隻あたりのマサバ漁獲量を推定しました。その結果、2020年のマサバ漁獲量（1日1隻あたり）は、前年を上回り^{※1}、平年並^{※1}と見込まれました。

^{※1} 漁獲量では、前年(平年)比20%以上増は「上回る」、±20%の範囲内は「並」、20%以上減は「下回る」と表記し、過去20年間（2000～2019年）の平均を「平年」としています。

（2）魚体

3～6月に伊豆諸島周辺で産卵を行ったマサバの一部は相模湾～東京湾に来遊し、5月以降に本県沿岸の定置網や一本釣り等で漁獲されます。1～3月に県漁業調査指導船「江の島丸」が伊豆諸島周辺で行った調査によると、尾叉長31～33cm（体重340～440g）を主体に漁獲されたことから、今シーズンはこのサイズのマサバが多く来遊する見込みです。

神奈川県水産技術センター

〒238-0237 神奈川県三浦市三崎町城ヶ島養老子

電話 046-882-2314 ファックス 046-881-7903

公式ウェブサイト <http://www.pref.kanagawa.jp/div/1730/>